

【復興関連道路】主要地方道 重茂半島線 大沢～浜川目工区

現場見学会を開催しました！！

～ つなごう！復興のために 進もう！復興のその先へ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

山田町立大沢小学校の復興教育で(主)重茂半島線大沢～浜川目工区を現場見学

県が「復興関連道路」として、下閉伊郡山田町大沢から浜川目間で整備を進めている主要地方道重茂半島線大沢～浜川目工区（以下、「本工区」という。）については、現在、大沢地区で道路改良工事を進めています。平成28年2月8日（月）に、山田町立大沢小学校の復興教育の一環として、現場見学会を開催しました。県が整備を進めている主要地方道重茂半島線全7工区では、初めての現場見学会の開催となります。

現場見学会には、大沢小学校3～6年生の児童53名が参加し、本工区の事業計画や、関連事業で山田町が施行する大沢第1住宅団地造成工事等（漁業集落防災機能強化事業）の計画を学んだ後、大規模な切土工事が進む大沢地区の工事状況を間近で見学していただきました。

また、現場見学終了後、3月で大沢小学校を卒業する6年生の児童の皆さんに、「復興への想いと未来の自分へのメッセージ」をタイムカプセルに格納して、大沢第1住宅団地脇の造成地(学校用地)に埋めていただきました。

タイムカプセルを埋めた場所には、6年生の学級目標である「団結」の2文字を刻んだ石碑を建て、児童が二十歳を迎えた成人式の際にみんなで開ける予定としています。今回の現場見学会で感じた気持ちを忘れずに、児童の復興への想いが未来へつながることを期待しています。



大沢～浜川目工区の事業等を学ぶ児童



大沢地区道路改良工事の現場での集合写真



タイムカプセルを埋める大沢小学校6年生児童



タイムカプセルの石碑を囲んでの集合写真

## 主要地方道重茂半島線大沢～浜川目工区の事業概要

県では、**岩手県東日本大震災津波復興計画**に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、**災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築**することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

主要地方道重茂半島線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、県が**重点的に整備**を進めています。このうち、下閉伊郡山田町で事業を進めている**大沢～浜川目工区**は、**多重防災型まちづくり連携推進事業**（まちづくり連携道路整備事業）として山田町が施行する**漁業集落防災機能強化事業**、**土地区画整理事業**等の復興まちづくりと連携し、東日本大震災津波と同等の津波が発生した場合でも**浸水しない道路を整備**することにより、高台に整備される**3箇所の住宅団地**（大沢第1住宅団地、大沢第2住宅団地、浜川目住宅団地）をつなぎ、**災害時等における確実な緊急輸送や代替機能等を確保**します。



## 進捗状況

### （仮称）大沢トンネルの工事に着手

本工区の主要構造物である（仮称）大沢トンネル（L=265.0m）については、平成28年の春頃から本格的に工事着手するほか、浜川目地区の道路改良工事等にも着手し、全線で工事を進めていきます。

県では、平成28年を「本格復興完遂年」と位置付け、本格復興をやり遂げ、次につながるよう強力に復興を推し進めることとしており、本工区についても、平成29年度の全線供用に向けて全力で事業を推進していきます。